

「経済の元気」から、「復興」を。
震災後の企業マーケティング、コミュニケーションの方向性を提案する。



NIPPON Rebirth Project「日本のタネ」

日本のタネ

～Vol.2 東日本大震災後の暮らしに関する首都圏調査レポート～

夏本番！約9割が「15%節電でも生活できる自信あり」

お金をかけない工夫と家族の助け愛♡で、暑い夏を乗り切ります！

東日本大震災により被災されました方々、ならびに関係者の皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

今、震災を機に、多くの生活者が意識や行動を大きく変えつつあります。
そして日本経済はかつてない大きな打撃を受けています。

株式会社 I&S BDDO(代表取締役社長:加藤和豊、本社:東京都中央区)は、この状況下において、新たな経済社会の再構築に向けて広告・マーケティング会社として何ができるのかを考えました。企業は今後どのようにこの変化に取り組んでいけばよいのか。生活者一人ひとりには日本経済を元気にするために何ができるのか。その答えを見いだす一助となることを目的に、5月12日 NIPPON Rebirth Project 「日本のタネ」を発足させました。

私たちは経済活動の活性化という視点から、これからの日本の未来を育んでいく生活者・企業と共に、希望を生み出す「新しいタネ」を蒔いていきたいと考えています。日本の新しいタネを蒔き、育てるために、私たちは生活者と企業を結ぶ懸け橋として、様々な生活者調査や有識者インタビューを通じて、今この瞬間の世の中の声を発信し、その情報を元に新たなマーケティング・コミュニケーションのあり方を提案してまいります。

今回は、6月下旬首都圏女性240人に実施した『東日本大震災後の暮らしに関する首都圏調査』を実施した結果を抜粋してお届けします。

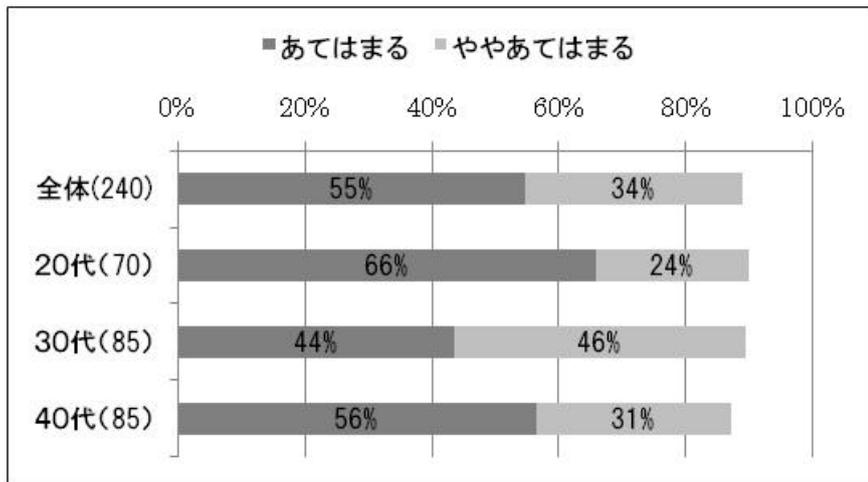
【調査概要】

- 調査方法:web調査
- 調査対象:20～40代女性 計240名
- 調査地域:首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)
- 調査期間:2011年6月30日(金)～7月4日(月)
- 調査機関:レディネット・ハッピーナ

【調査結果】

電力不足の問題は日本経済にとって悩みの種だが、一方で「お金はかけずに工夫と知恵で楽しく」「ちょっとした家族の支えでやる気アップ」と、がんばりすぎない程度に、この暑い夏を乗り切ろうという気持ちが高まっている。

●15%節電でも生活できると思う



●「今年の夏の乗り切り方」(FAより一部抜粋)

- 扇風機が一台増えた。ダイエットして脂肪を減らして、暑さも減らしたい。(26歳・会社員)
- 首に保冷剤を巻いている。エアコンはコンセントをぬいて使わない。ノースリーブに髪は常にアップ。(35歳・専業主婦)
- 自宅にいないで、公共の場やお友達の家に行ったりする。(35歳・専業主婦)
- グリーンカーテンに打ち水。水浴び。よしず。竹シーツ。(39歳・パート)
- 何事もがんばりすぎない。(28歳、パート)

●「震災後、変わったこと」(FAより一部抜粋)

- 夫の残業が少なくなったので、帰りが早い。その分会話する時間が増えた。食事は質素になったが♡。(35歳・専業主婦)
- 消費を抑えています。ただ人とつながるための交際費は減らしていません。(29歳・会社員)
- メールができなかった父に「メールできるようになってね」とお願いしたら、できるようになったので、まめに連絡とりあうようになった。(36歳・会社員)
- 暑くても、文句を言わずに、「節電だね」と言っているこども達。(40歳・専業主婦)
- 夫のお給料がカット。夫は以前はまったくお弁当の準備をしなかったが、自らおかずをつめて行くようになった。(37歳・パート)

本プロジェクトチームでは、引き続き調査、研究を行うと共に、企業の皆様のコミュニケーション活動等に関するご相談を受け付けております。詳細は下記までご連絡ください。

本件お問い合わせ先:

株式会社 I&S BBDO 広報グループ PR ディレクター 宮下 綾

TEL: 03-6221-8523 E-mail: prdiv@isbbdo.co.jp

本プロジェクトの活動詳細は、<http://www.nihonnotane.com/>をご覧ください。